

平成 29 年度 生薬学・天然物化学関連教科担当教員会議 議事録

日 時： 平成 29 年 9 月 8 日（金） 16 時 00 分～ 17 時 30 分

場 所： 東邦大学 習志野キャンパス 薬学部 A 201 講義室（千葉県船橋市三山 2-2-1）

議 題：

(1) 薬用植物園での教育研究の現状と問題点

話題提供者：京都大学大学院薬学研究科 伊藤美千穂先生

薬学部を有する大学は、薬用植物園（薬草園）を附属させることを必要とされる（大学設置基準第 39 条）。この設置基準の意義から、京都大学の薬用植物園の現状を例にして、教員評価、薬草園の存在意識、生物多様性条約議定書締結後の研究材料の取り扱い規制にまで言及し、さらに幅広い活動内容について話題提供がなされた。その後出席者からの質問や発言あり、活発な議論が行われた。

(2) 最近の薬学部教育の現状と問題点

話題提供者：東邦大学薬学部 木村美紀先生

東邦大学薬学部では薬剤師国家試験対策の一環として、4 年次から成績により上位と下位の 2 にクラス分けをしている。成績下位のクラスを教育指導する立場から、なかでも生薬学に興味を持ってない学生の意識改革について話題提供がなされた。その後出席者からの質問や発言もあり、活発な議論が行われた。

(3) その他

① 日本薬学会天然物部会関係

北里大学薬学部・小林義典先生から、平成に 29 年度の活動計画について報告があった。

② 日本学術会議関係

千葉大学大学院薬学系研究科・斉藤和季先生からマスタープラン 2016 について報告があった。

次回開催：

場所：安田女子大学薬学部 大塚英昭先生（日本生薬学会第 65 回年会大会長）

修了後、植物園協会との合同で意見交換会を行った。

生薬学・天然物化学教科担当教員会議

委員長・世話人：阿部 郁朗